

宇都宮市立宝木小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で、学校の授業の復習をしていますか」という設問に対する肯定的回答は、全国平均よりも15.7ポイント高い。学習内容をその日のうちに理解し、定着を図ろうとする学習習慣が身に付いている。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」という設問に対する肯定的回答は、全国平均よりも9.1ポイント高い。「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という設問でも肯定的回答が全国平均を5.3ポイント上回っている。充実した学校生活を友達と共に送っている様子がうかがえる。

○「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」という設問に対する肯定回答は、それぞれ全国平均よりも4.8ポイント、8.1ポイント高い。自分を取り巻く社会環境に対する関心や社会の一員としての自覚が高まってきている表れと言える。

○「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」という設問では、「週1回以上利用」の回答が、全国平均よりも8.8ポイント高く、「読書は好きですか」という設問に対する肯定的回答も、全国平均を1.3ポイント高い。日々の読書活動や読み聞かせなどが定着し、意欲喚起につながっている様子が見られる。

●「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」という設問に対して、「1時間より少ない」と答えた児童が全国平均を10.2ポイント高い。「放課後の過ごし方」に関する設問では、「友達と遊ぶ」児童が最も多く、次いで「テレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりインターネットをしたり」と回答した児童が多いことから、平日の放課後の時間の活用について、家庭と連携して指導していく。

●「400字詰め原稿用紙を2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」という設問に対して、「そう思う」と答えた児童は、全国平均よりも3.7ポイント高く、文章を書くことに対して苦手意識をもっている。日記指導など、日常的に簡単な文章を書く機会を設けて「書くこと」の習慣化を進める一方、教科の学習を通して作文指導の充実を図りたい。

●「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」という設問に対して、「そう思う」と答えた児童は、全国平均よりも7.1ポイント高く、自らの考えを説明することに対して苦手意識を持っている。授業の中でも「めあて」に合わせて自分の意見を話したり書いたりする時間を確保し、苦手意識の克服に努めていきたい。

宇都宮市立宝木小学校 (第6学年) 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・話し合い・学び合い活動の充実	・児童が「考える」「発表する」「話し合う」時間を確保している。 ・学びの観点を示してペアやグループによる学び合い活動を取り入れる。	・5年生までに受けた授業で話し合う活動についての設問では、ほとんどの項目で全国平均を超えた肯定的な回答となっている。特に「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思いますか」の設問では、肯定的な回答が全国平均を7.3ポイント上回っている。 ・「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫していたと思いますか」の設問では、否定的な回答が全国平均よりも2.7ポイント高い。
・授業での「目標の共有化」と「振り返り活動の効果的な実施」	・掲示物「宝木の振り返り」を活用し、本時の目標に対する「振り返り活動」を授業の中で効果的に実施できるようにしている。	・「5年生までに受けた授業の中で目標が示されていたと思いますか」の設問に対し92.4%が肯定的な回答をしている。しかし、「5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていたと思いますか」の設問では、4.7ポイント全国平均を下回っている。 ・「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたか」という設問には83.2%が肯定的な回答をし、全国平均よりも6.8ポイント高い。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・教科に関する調査から、長文の問題や記述式の問題の解答に無解答が目立ち、問題の意図を読み取って、自分の考えを文章で書くことに課題がみられる。	・課題の意味を読み取り、自分の考えを持てるよう、自分の考えを話したり、書いたりする機会を意図的に授業中に設けていく。	・児童が自分の考えをもてるような課題設定や発問を工夫する。 ・自分の考えを話す機会として、学び合い(ペア学習・グループ学習)を効果的に取り入れることで、自分の考えを言語化できるようにする。